

祭日 九月廿八日
社格 郷社(縣社)

所在 揖保上村(揖保郡揖保村大字揖保上)
今按播磨鑑龍野志等に伊保上村にあり俗に八尋と云ふと云る八尋は即夜比良の神訛とみゆれば本社の證とすへし

家島神社 大神

祭神
祭日 七月三十日三十一日
社格 郷社(明細帳に無し他)
所在 家島宮浦

○赤穂郡三座 小並

伊和都比賣神社
祭神 伊和都比賣神 備御時明神
祭日 十月十六日
社格 郷社

所在 新濱村(御崎(赤穂郡新濱村))

今按神社叢錄に式社記海面に出張る南方神前の岸下海水漫々として松根を洗ふ海中に出たる大岩あり往古は此岩上に坐しを後に今の處に移す云り附て參考に備ふ

八保神社

祭神
祭日 仁明天皇承和七年六月甲子播磨國赤穂郡八保神爲官社
祭日 八月十五日
社格 郷社(縣社)
所在 岡村(赤穂郡船阪村大字八保)

鞍居神社

祭神
祭日 九月五日
社格 郷社
所在 金出地村(赤穂郡鞍居村大字金出地)

今按尼瀨取調帳に鞍居神社は本郡桑村氏神鞍居明神にて祭神伊弉諾伊弉冉二神とみえたり神社叢錄に式社記に當社を下社云云倉井村田圃にも小祠あり是此舊地なるを今の處に移すと傳へたり金地倉井共に分明也とある金地村は金出地村同所なるべし

○宍粟郡七座 大一座 小六座

伊和坐大名持御魂神社 大神
祭神 大已貴命
神位 清和天皇貞觀元年正月廿七日甲申奉授播磨國從五位

雨祈神社

祭神 霽貴布都神
祭日 六月九月九日
社格 郷社
所在 千木屋村(宍粟郡城下村大字千木屋)

與比神社

祭神 須佐之男命
今但馬國養父郡大與比神社あり天日神を祭ると云説ありいかにも然るべし然ればこの與比神社も同神なるへしヌサノヲミ云事疑はし尙よく考べし

大倭物代主神社

祭神 事代主神 霧諸乎神
今按この祭神明細帳に事代主神とあるはまことに其社に古くより云傳へたる説か又古事記傳の説によりてかく記せるか今詳ならねと姑く之に従へりされと大倭物代主神と云るは何となく倭大物主と云るにひとしく大穴牟遲命なるへく思はるゝ由ありされは古事記傳大物主神の事を云る條に書記一書に是時歸順之者渠者大物主神及事代主

御形神社

祭神 葦原志許乎命
今按この祭神の事播磨風土記に明證あり下の多可郡加部良命神社の條に引る文をみてしるへし
祭日 九月三十日
社格 郷社

所在 森添村(宍粟郡三方村大字森添)

今按神社叢錄に御方郷公文村あり又式社記には伊和郷三方村にありと云りこの森添村は御方郷の内なりや猶よく考ふべし

庭田神社

祭神
祭日 四月朔日九月十八日
社格 村社
所在 能倉村(宍粟郡染河内村大字能倉)